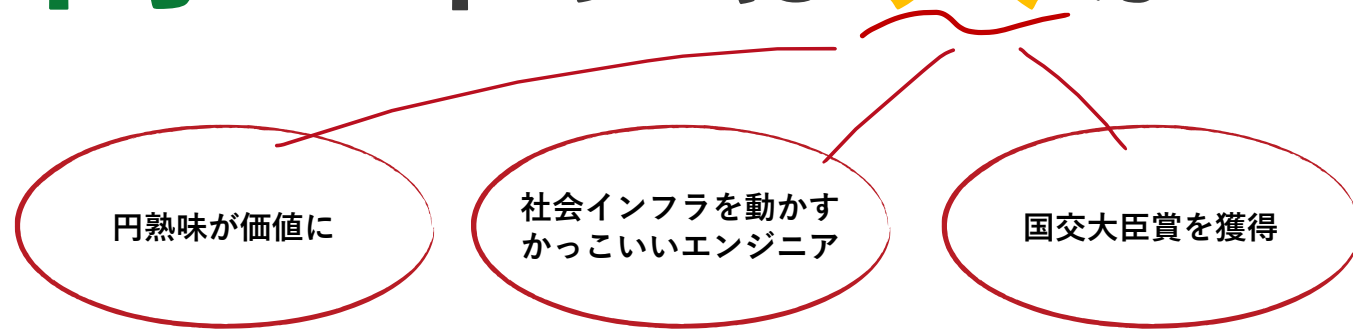


行列のできる プラント計装企業



きうちけいそく

木内の中には人がいる



電気が使えることは、**当たり前**でしょうか。

実は、そうではありません。

発電所があり、電気を届ける会社があり、それぞれが役割を果たして、はじめて私たちの暮らしは成り立っています。

どれか一つでも欠ければ、電気は届かない、そして社会は止まる。

社会を止めないための「見えない1ピース」として

発電所の温度・圧力・流れなどを正しく保つ役割を担っているのが私たち、木内計測のエンジニアです。

社会が動き続ける、その裏側に

日本のインフラを止めない会社

止められない現場で、止まらない信頼を積み重ねてきました。

だから、選ばれ続けて**70年連続黒字経営**を実現できました。

全国
29拠点

大飯発電所
(関西電力株式会社)



六ヶ所再処理工場
(日本原燃株式会社)



姫路第二発電所
(関西電力株式会社)



富津火力発電所
(株式会社JERA)



柳井発電所
(中国電力株式会社)



四日市製油所
(コスモ石油株式会社)



信頼は、歴史から生まれる

業界屈指の歴史 **創業1954年**

積み上げた技術と伝統が安定をつくる。

安定は、数字で語れる

単年度定着率 **96.8%**

やりがいと働きやすさがあるから長く働ける。

技術は、武器になる

国家資格保有数

1人あたり平均 **4.7資格**

磨いた分だけ、引っ張りだこになる。

電気は、ひとつの“ズレ”で止まる

発電所のエラー1つが 社会の電気を止める

あらゆる場面で木内計測の
計装エンジニアが活躍しています。

計装エンジニアとは

エネルギー関連プラントにおいて、自動制御装置のメンテナンスや制御システムを含む電気・計装工事を行うエンジニアです。

3つの力で、社会を止めない

把握：状況を正確に読み取る知識力

判断：経験を基に最適解を考え抜く思考力

操作：実際に手を動かして解決する技術力

もし、圧力を一定に保てなかったら…
ボイラー内の圧力が急上昇し、
設備は緊急停止します。

水蒸気量=圧力を制御



もし、水量が適量でなかったら…
水蒸気量が影響してタービンが正常に回らず、
電気をつくることができません。



水位を制御

冷却水の流量を制御



もし、冷却水の量が足りなかったら…
設備の温度が上がりすぎて、
安全装置が作動し、発電が止まります。

測り、動かし、まとめ、考える



測る 発電所の健康診断

計器調整は、圧力・温度・流量など、目に見えない状態を、正確に測り続ける仕事です。発電所では、「正しく測れているかどうか」そのものが、安全と安定運転を左右します。計器調整では、外観検査、基準入力・データ採取、許容範囲の確認、計器の調整・復旧を行い、常に正しい数値が表示される状態を保ちます。その積み重ねが発電効率の維持につながり、設備や配管の安全を守り、プラント全体の正常運転を支えています。



動かす 発電所の呼吸器官

制御弁メンテナンスは、蒸気・水・ガスなど、発電所の中を流れる量を狙い通りにコントロールする仕事です。流れが多すぎても、少なすぎても、ボイラーやタービンは正常に動きません。制御弁メンテナンスでは、外観検査、分解、部品点検、組み立て、作動調整、最終確認を行い、思った通りに動く状態をつくり上げます。発電所が安定して動き続けるための呼吸を支えています。



まとめる 発電所の進化を創造

改善工事マネジメントは、発電所をより安全に、より効率良く動かすための改善工事全体をまとめる仕事です。工事の設計、機器や部品の調達、施工管理、工事後の修繕・メンテナンスまでを一貫して担います。現場を知っているからこそ、机上の計画ではなく、本当に使える改善ができるようになります。プラントを止めずに未来へつなぐための司令塔として活躍しています。

考える 発電所を守る頭脳

システムの開発・設計は、発電所が24時間365日、安全に動き続けるための制御の仕組みをつくる仕事です。プラント全体を自動制御するDCSや設備の状態や異常を可視化する監視制御システムを設計します。異常が起きてから止めるのではなく、止まらないように先回りする。見えないところで判断を支え続ける、発電所の頭脳となる仕事です。



成果が目に見える
達成感

プラントは嘘をつきません。
調整次第で音や数値が変わり
自分の仕事が必要な手応え
として返ってきます。



努力を裏切らない
成長実感

計装エンジニアの成長は
経験に比例します。
触れ、考えた分だけ
全てが身に付きます。
だから、努力が
確かな実力になります。

「よし！」と思える 仕事がある

成長し続けられる
奥深さ



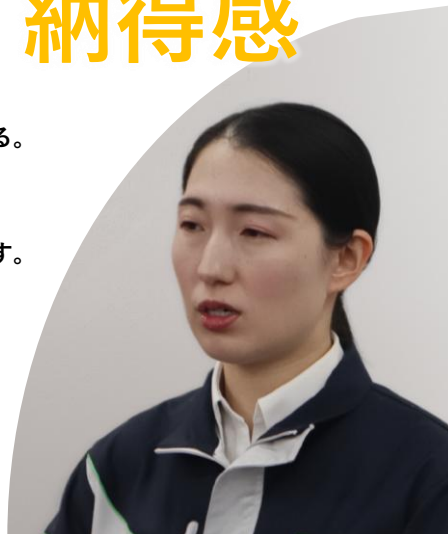
経験を重ねるほど任され
「荒木、ちょっと来てくれ」
と名指しで頼られる
プロになれる仕事です。

マニュアルじゃない
思考力



プラントごとに条件も
課題も異なります。
だからこそ、考え抜き
自分なりの正解を磨き続けて
挑戦し続けています。

理屈が腑に落ちる
納得感



原理を理解し
現場でやってみる。
学びを実践し
続けることで
確かな力に
変わっていきます。

プロにあるのは、お客様と社員からの信頼



1994年入社

石井 高司

東京支社 千葉事業所 技術課長
新卒で入社し、富津作業所にて富津火力発電所を担当
30歳前半で富津作業所長に就任、制御弁の定期検査工事責任者に従事
2018年 技術課長として事業所全体をマネジメント

Q. お客様から信頼されるために大切なことは？

A. 信頼は、先を読む力から生まれる

メンテナンスをして、壊れたところを直す。それは、計装エンジニアとして当たり前の仕事です。でも、木内計測の仕事は、それだけでは終わりません。「次の点検では、ここを見ておいた方がいいですね」「今は問題ないですが、今後懸念になるのはこの部分です」そんなふうに、先を見据えた一言を添えることを大切にしています。だからこそ、お客様から「来年もよろしくね」「定年まで、石井さんをお願いしたい」と言っていただけるようになる。単なるメンテナンス業者ではなく、何でも相談できる存在になること。それが、木内計測の計装エンジニアです。

Q. 木内計測ならではの強みは？

A. 技術と姿勢で、仕事が広がっていく

木内の社員の仕事ぶりや姿勢を見たプラントの担当者から、「うちのプラントも、お願いできませんか？」と声をかけていただくことがあります。営業が取ってきた仕事だけではなく、現場での技術と向き合い方が、次の仕事につながる。それが、木内計測の強さだと思います。

先輩の背中を追いかけてホンモノのエンジニアへ



2023年入社

山本 智尋

東京支社
2023年に新卒で入社し、東京支社にて横浜火力発電所を担当
入社2年目から電気制御定期検査の作業責任者に従事
株式会社ポリプラスチックス富士工場に
電気計装定期修繕工事の工事監督を経験

Q. 入社当初に大変だったことは？

A. 最初はとにかく、必死だった

1年目は、とにかく先輩の動きを真似することで必死でした。正直、何が何なのかわからないことばかりでした。それでも、わからないままにせず、先輩に聞きながら、一つひとつ覚えていきました。そうして、今では責任者を任せてもらえるようになりました。初めて責任者を任されたとき、所長からこう言われました。「山本がやらないと、工事が終わらない」「その計器は山本がちゃんしないと、今回の工事は終わらないからな」その一言で、自分の判断が発電所全体に影響する仕事なんだと実感しました。プレッシャーもありましたが、同時に、この仕事の重要性を強く感じた瞬間でした。

Q. 木内計測の魅力は？

A. 丁寧さが信頼に、そして仕事に

上司や先輩が、お客様と接する姿を見ていて、本当に丁寧だなと感じます。だからこそ、お客様から「また来てください」と言ってもらえる。その丁寧さこそが、木内計測の強み。私も、技術だけでなく、人として信頼されるエンジニアを目指したいと思っています。技術力が高いのはもちろん、お客様との関わり方まで含めて、先輩たちから吸収したいことがたくさんあります。いつか自分も、「山本をお願いしたい」と言ってもらえる計装エンジニアになるのが目標です。

ゼロからでも、プロになれる

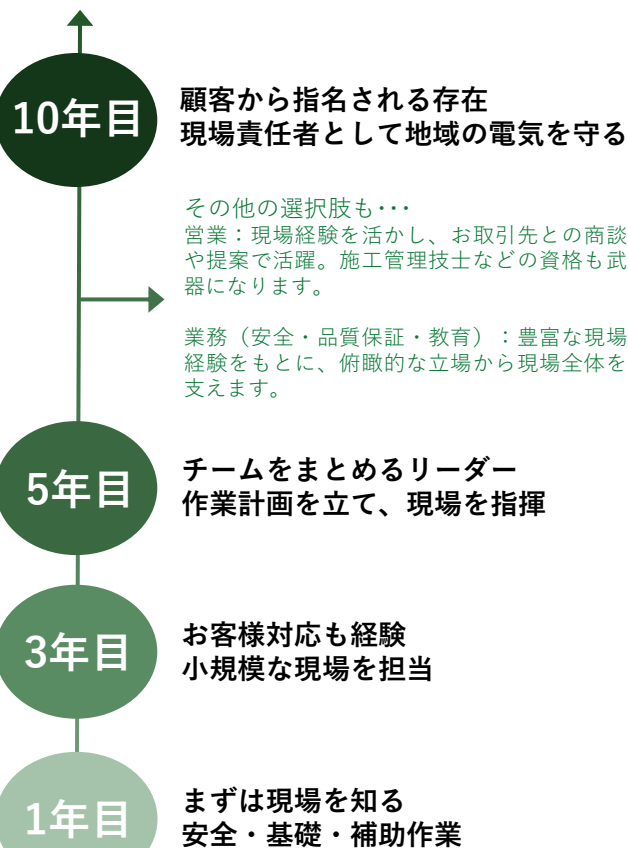
木内計測では、「育つ前提」でエンジニアを迎え入れます。

理系 70% / 文系 30% (2026年時点) と文系出身でも、第一線で活躍している社員が多数います。

お客様先のプラントで働く新卒エンジニアも木内計測の研修に参加するほど、質の高い教育をしています。



プロフェッショナルなエンジニアへの道



専門技術 (3年目～)

○専門技術・メーカー研修

社内外を問わず、習熟度や目標に合わせた専門性の高い研修



配属後 (入社2ヶ月目～3年目)

○マンツーマンリーダー制度

入社後1年間、1対1で個別指導、月1回、成長を振り返り

○フォローアップ教育

入社後3年間、定期的な集合研修、レポート発表や実習など



新入社員 (入社1ヶ月)

① 基礎教育 | 1週間 (本社)

ビジネスマナー、就業規則などを中心に社会人としての土台を座学で研修

② 安全体感訓練 | 2日程度 (若狭)

ヘルメット越しに落下物が当たる体験など、現場で「安全の重み」を体感

③ 実技教育 | 10日間 (姫路)

学科と実技を繰り返ししながら、配属後に必要な知識・技術の基礎を習得

資格

158種類を
「業務密着資格」に
設定



日々の積み重ねが、ホンモノへの近道



2022年入社

布 伸二

関西支社 姫路事業所

2022年に新卒で入社し、姫路事業所管内の定期検査を担当
入社2年目で株式会社ダイセルの電気計装関係の定期検査の
作業責任者を経験

Q. 実際に働いてみて、成長を感じる瞬間は？

A. 毎日が、次につながる「糧」になる

この仕事は、毎日がトライアンドエラーの連続です。うまくいかないこともあります。その分、挑戦して学んだことが、必ず次に活きて感じています。昨日できなかったことが今日はできる。そうやって一つずつ積み上がっていく感覚があって、日々、成長している実感があります。

Q. これから、どんなエンジニアになりたいですか？

A. 問題が起きた時にどんなことでも対応できて、お客様から信頼されるエンジニア

先輩方を見てると、問題が起きた時にどんなことでも対応できて、お客様から信頼されているのがわかります。私もそんな技術や知識を身に付けて、「この人に任せたい」と思ってもらえるエンジニアになりたいです。そのためにはわからないことがあった時にすぐに聞くのではなく、まずは「この作業は、何の意味があるんだろう？」と自分なりに考えるようにしています。自分で触ってみてから先輩に聞くと、理解の深さが全然違う。ただし、わからないまま進めようと、何も身に付きません。だから、困ったらすぐに聞ける環境があることも、すごくありがたいです。実際に、先輩方は本当に人柄が良く、話しかけやすいです。やる時はビシッと集中して、休憩中は雑談したり、笑ったり、メリハリのある雰囲気があります。休日に先輩とオンラインゲームをしたこともありますし、社員旅行もあって、自然と距離が近く、そんな先輩方から日々学ばせてもらっています。

「やらせてください」それが成長への第一歩



1994年入社

武本 慎也

関西支社 姫路事業所 技術課長

1級電気工事施工管理技士

1994年新卒で入社し、赤穂作業所にて赤穂発電所を担当
株式会社ダイセルの定期検査の工事責任者を経て課長を経験
国家プロジェクトであるLPガス国家備蓄基地地下岩盤貯槽建設
プロジェクトの計装工事にも従事

Q. 部下と関わる時に意識していることは？

A. 「まずはやってみよう」と背中を押す

この仕事は、まずやってみて、経験を積むことが大切です。ただし、「やらせる」感覚では意味がありません。「やってみてほしい」そうお願いして、やってもらったら、きちんと感謝を伝える。そうすると、後輩も「自分の仕事」として向き合ってくれるようになります。もちろん、丸投げはしません。任せて、見守って、極力フォローしながら見守ることを大切にしています。わからないことがあったときに、すぐに質問してもらえるように、休憩中はこちらから声をかけることも意識しています。何でも話しやすい関係性が、成長につながると思っています。

Q. 成長する人の共通点は？

A. 好きこそものの、上手なれ

1回やって終わりではなく、「次もやりたい」と思えるかどうか。「2台目もやらせてください」と言える人は、確実に伸びていきます。それって「好きこそものの上手なれ」だと思います。経験を積む中で「この仕事、面白いな」と思えるようになってくると「もっと知りたい」「もっと技術を身に付けたい」という気持ちが自然と湧いてきます。この仕事は何年働いても新しい学びがあるので、極め続けることができる仕事だと思っています。

長く働ける理由が、ここにはある

木内計測では「無理なく、安心して働き続けられること」を大切にしています。
数字の背景には、一人ひとりの生活を尊重する考え方があります。

有休が取りやすい 9連休もできる

平均残業時間は月14時間（2025年度実績）。
平日でも自分の時間を大切にできる働き方が根付いています。有給取得率は82.1%（2025年度実績）。
取得しづらい雰囲気はなく、7～8月や12～2月には有給を活用し、9連休以上の休暇を取得する社員が多数います。

子供1人あたり 年5日の特別休暇

性別を問わず子育てと仕事の両立を支援しています。育児休業や時短勤務制度を整備し、男性社員の育休取得実績もあります。12歳以下の子どもがいる社員には、子ども1人につき特別休暇を年5日付与。急な通院や学校行事など、家族を優先できる制度を整えています。

給料+αで月3万円の 住まいサポート

家賃補助として月額3万円を支給。さらに、入居時の引越し費用や赴任交通費は全額会社負担です。
新生活のスタートに余計な不安を抱えずに済む環境を整え、給与+αで経済的な支援をしています。

だから、長く働きたい

こうした環境があるからこそ、木内計測では「辞めない」のではなく、「続けたい」人が多い。

平均勤続年数

19.1年

単年度定着率

96.8%

（過去5年平均）

有給休暇取得率

82.1%

平均残業時間

14.4時間

新卒定着率

3年：88.9% 5年：71.4%

（2026年4月1日時点）

技術を磨き、経験を積み、人生を重ねていく。
木内計測は、そのすべてを受け止められる会社です。

手を貸してくれる、そんな仲間がいる



Q. 子育てをしながら働き続けられる理由は？

A. 制度だけじゃない、社員を支える文化があるから

正直、子どもがいると、急な発熱や呼び出しは避けられません。でも木内計測では、朝に「子どもが熱を出してしまっ…」と電話をすると、嫌な顔をされることは一度もありません。急にお迎えに行かなければならなくなったときも、「早く行ってあげて」と声をかけてもらえる。自分がいない間の仕事も、「まだ休んでるの？」ではなく、周りの方が自然に手を貸してくれます。「休んで申し訳ない」と思う前に、「今は子どもを優先していい」と思わせてくれる環境があって本当にありがたいです。

Q. 子育てと仕事を両立できている理由は？

A. 制度のやさしさと、人のやさしさ

子どもがいる人向けの特別休暇があることで、「お金の心配をせずに休める」のは、とても大きいです。また、時短勤務ができるので、早めに帰って子どものサッカースクールの送り迎えをすることもできます。結婚したから、子どもができたからといって、仕事を諦める必要はありません。制度が整っているのはもちろんですが、何より大きいのは周りの理解です。男性社員の方も含めて、「お互いさま」という空気が自然にある会社だからこそ、子育てと仕事を両立できていると感じています。



2004年入社

皆木 加奈子

関西支社 姫路事業所

姫路事業所に入社後、結婚、出産を経て子育てをしながら業務部に従事。時短勤務や特別休暇を活用しながら、子育てと仕事を両立。

頑張れるのは、あったかい会社だから

Q. 印象的な出来事は？

A. 女性ならではの悩みだって、何でも聞いてくれる

現場で働く中で女子トイレの環境について不安を感じたことがありました。正直、言いづらいなと思ったのですが、相談してみると、課長と女性社員の方、そして私の3人で、きちんと話し合う場を設けてくれました。その後、現場責任者の方がお客様先にご挨拶してくださり、設備の改善までつながりました。「言って良かった」「ちゃんと向き合ってもらえた」そう感じた出来事でした。

Q. 木内計測はどんな会社？

A. 社員一人ひとりを大切にする会社

体力を使う仕事なので、正直、大変だと感じる場面もあります。でも、周りの方が必ずフォローしてくれます。ベテランの社員の方は、優しいお父さんのような存在で、いつも気にかけて声をかけてくれるので相談もしやすいです。休憩中は雑談をしたり、少しふざけたり、年齢や性別に関係なく、和気あいあいとした雰囲気があります。やる気がある人には、年齢や性別、経験に関係なく、本気で向き合ってくれます。だから、自分も頑張ろうと思えるし、そうしたら自分のことを大切にしてくれるし、日々モチベーション高く働けるあったかい会社だと感じています。



2024年入社

菅原 生子

関西支社 姫路事業所

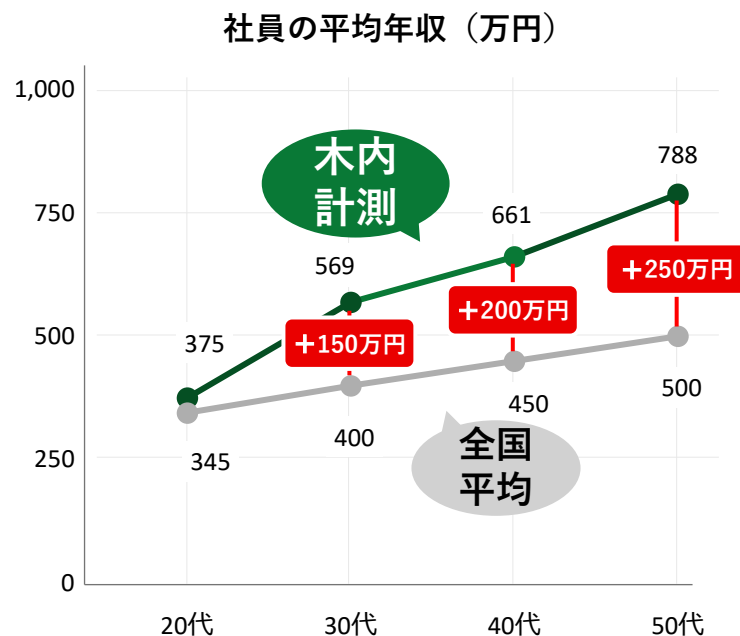
2024年に新卒で入社し、関西支社管轄圏内で制御弁メンテナンスを担当。学生時代の経験を活かし、制御弁メンテナンスにおける切削加工技術が強い。木内計測内でも少ない、切削加工技術を持つ社員。

技術と人間性が、指名になる

全国平均を大きく超える年収

木内計測では、年齢とともに、全国平均を大きく上回る年収カーブを描いていきます。それは、年功序列でも、学歴の差でもありません。技術を身に付け続けた人が評価され続ける。

その結果が、この数字です。学歴不問、文理不問、ただし、技術と姿勢は正当に評価される。だから、伸び続ける。



なぜ、ここまで差がつくのか

技術の積み上げが価値になる

計装エンジニアの仕事は「経験すればするほど、代えがきかなくなる」仕事です。状況を見抜く力、判断の引き出し、トラブル時の対応力、お客様からの信頼これらは、年数とともに確実に積み上がるもの。木内計測では、その積み重ねを、年収という形できちんと返します。

技術力を本気で磨ける文化 ＝技能コンテスト

年に一度、各拠点から選ばれた代表者だけが出場できる技能コンテストを開催しています。評価されるのは、工事施工要領に基づいているか、時間内に丁寧に作業できているか、ルールを守れているか、そして何より分解、組み立て、調整後の「精度」など、見た目ではなく、本当に正しく動くかどうかで勝負します。ここに、妥協はありません。



なぜ、指名され続けるのか

言われたこと、
決まったことだけじゃない
一緒に考え、
任せてもらえる人になる

木内計測のエンジニアが「プロ」と呼ばれる理由は、技術だけではなく、自ら考え、最善を提案する求められたら、できる方法を考えるお客様一人ひとりに丁寧に向き合うから「次もお願いしたい」「あの人来てほしい」と言われる存在になります



技術は、裏切らない。積み上げた分だけ、信頼になり、年収になる。
それが、木内計測のホンモノのエンジニアです。



心を込める、それが技術に、そして信頼に



2006年入社

持田 優

東京支社

第10回技能コンテスト優勝

2006年に入社し、東京支社にて浜地区の発電所や清掃工場を担当
現在は制御弁関連の定期検査の作業責任者として従事
ベトナムなどの海外出張もこなす、オールマイティな存在

Q. 技能コンテストで大切にすることは？（第10回技能コンテスト：2025年 優勝）

A. 原点に立ち返る、「基礎」の徹底

技能コンテストは、ただ作業が早いかどうかを見る場ではありません。分解・組み立て・調整のすべてにおいて、「見るべきポイント」をすべて見られている」試験だと思っています。だからこそ、改めて0から学び直す、復習の場になります。基礎を一つひとつ丁寧に積み重ねる。その姿勢こそが、普段の仕事の精度につながり、結果的にお客様への価値になると感じています。

Q. プロフェッショナルとして大切なことは？

A. このプラントは自分が守るというマイプラント意識

自分が担当するプラントは「自分のプラント」。誰かの仕事ではなく、自分自身が責任を持って点検し、守るという意識が大切だと思っています。この仕事で大切なことはシンプルで、心を込めて向き合うことに尽きます。決まったことをやり切るだけでなく、どうすれば一番良い状態になるのかを常に考えます。お客様から預かった仕事だからこそ、丁寧に向き合い、喜んでもらえる仕事をしたい、そう思っています。お客様も、私たちも、目指しているゴールは同じ、安全にプラントが稼働し続けることです。同じゴールを目指す仲間として向き合うことで、自然と良い関係性が築けると思っています。

見られているのは、器の大きさ



2007年入社

荒木 幸太

関西支社 技術課長

2007年に入社し、関西支社管轄の発電所を担当
南港火力発電所作業所長や計装関係工事責任者を経験
関西支社の工程管理などの係長業務を経て課長就任
（課長就任時、最年少課長）

Q. エンジニアに大切なことは？

A. 仕様書通りだけじゃない、だから指名される

この仕事は、仕様書どおりに進めるだけの仕事ではありません。お客様との会話の中から、「本当は何に困っているのか」「何がきたら一番いいのか」を汲み取り、自分なりに考えて提案していくことが大切です。技術はやれば身に付きます。でも、それ以上に大切なのは人としてどう向き合うかだと思っています。だから、お客様に頼まれたことに対しては、誠実に対応することが大切です。できないことは、できないと正直に伝える。「この点は正直なところ難しい部分です」とお伝えしたことで、お客様と一緒に「じゃあ、どう解決するか」を考え、結果的に良い解決策にたどり着いたこともあります。今では「荒木、ちょっと来てくれ」と、何かあった時に最初に声をかけていただけるようになりました。

Q. 指名されるエンジニアになるために大切なことは？

A. 選ばれるのは、小さな努力を続けた人

技術を身に付ける一番の近道は、「わからなかったことを、そのままにしない」ことです。日々の現場で学んだことを、一つずつ積み重ねていく。その地道な努力が、気づいたときに大きな差になります。プロフェッショナルは、一気にできあがるものではありません。積み重ねた人だけが、最後に選ばれる存在になるのだと思っています。

木内の中には人がいる

経営理念

顧客重視

お客様の要望するサービスを提供し、安心と満足を与える誠実な会社であるべく、毎日の積み重ねを大切にします。

企業は人なり

会社の発展は、働く社員一人ひとりの成長においては考えられません。私たちは、仕事を通じて人間として成長して行きたい、そう願います。

協調

和を以って貴とす。素直に「ありがとう」「ごめん」の言える人間形成が信頼関係の基本であると考えています。

安全最優先

人間性尊重の面からも、安全がすべてのことに優先します。安全確保そして継続への創意工夫を続けます。

社訓

誠実

社会インフラを担う我々は、嘘偽りなく、誠実さをもって接する

誠実だから
お客様から信頼され

70年連続黒字経営

努力

自分だけではなく、お客様や仲間、家族のために努力し、課題解決をして成長する

努力をするから
国家資格保有数

1人平均4.9資格

協調

仲間、顧客、取引先と共に、どんな時も協力して目標を達成する

協調を大切にするから
社員想いの会社になって

単年度定着率96.8%

代表取締役社長 木内啓文

社長である私は子育てに悩みを持つ皆様と変わらない“人”です。
社員も休み時間はスマホゲームをしていたり、
些細なことで笑い合ったりと皆様と変わらない“人”が、
社訓の「誠実・努力・協調」を大切にし、インフラを守り続けています。
これこそが「木内の中には人がいる」ということです。

木内計測で働く“皆様と変わらない人”が輝いていれば、
インフラを守り続けることができます。
文理問わず成長できる研修や資格取得支援制度を常に進化させ、
また大阪生まれの企業として大阪らしく遊び心を持って、
健康休暇の導入等の他にはない新制度導入へと挑戦を続けます。



会社概要

社 名：株式会社木内計測
所 在 地：大阪市天王寺区清水谷町4番12号
業 業 拠 点：青森県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、
神奈川県、新潟県、石川県、福井県、岐阜県、
三重県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、
島根県、山口県、佐賀県
創 業：1954年
社 員 数：419人
売 上 高：70.9億円(2025年度)
事 業 内 容：プラントの保守メンテナンス、
制御システムの設計・工事、
再生可能エネルギーのサポート

